

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信

2023

4

vol.10


IMAGINE
ROTARY

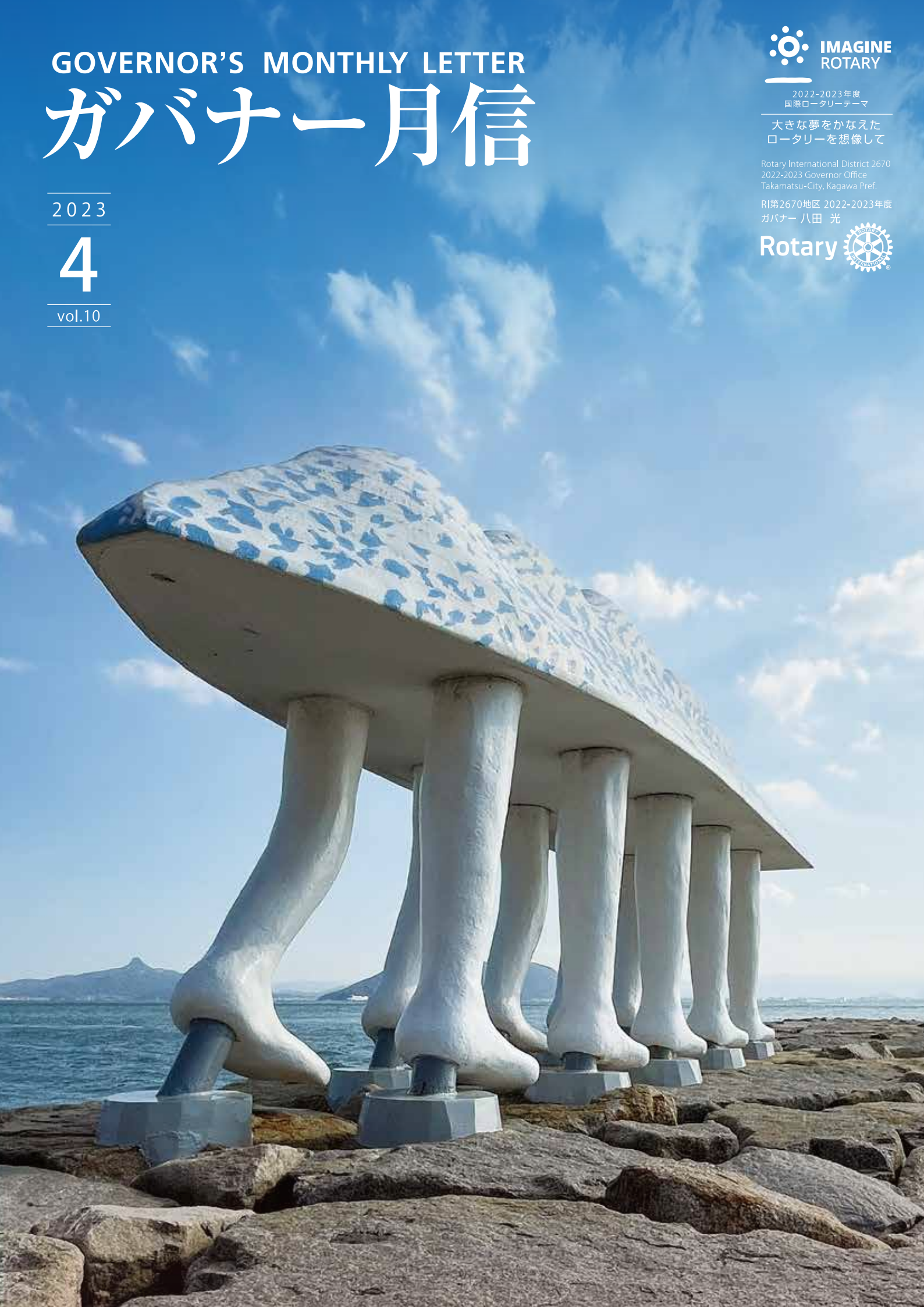
2022-2023年度
国際ロータリーテーマ

大きな夢をかなえた
ロータリーを想像して

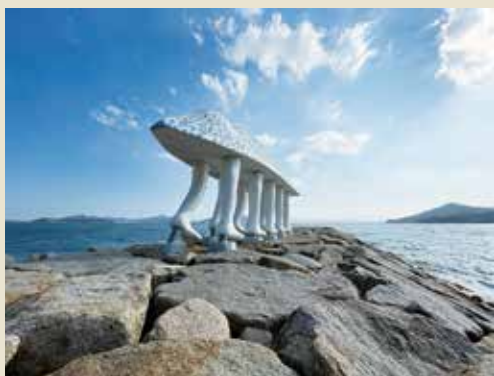
Rotary International District 2670
2022-2023 Governor Office
Takamatsu-City, Kagawa Pref.

RI第2670地区 2022-2023年度
ガバナー 八田 光

Rotary 



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER
ガバナー月信 4
月号



高松市男木島
山口啓介「歩く方舟」

高松港からフェリーで40分の男木島。芸術祭をきっかけに移住者が増加している。2013年の瀬戸内国際芸術祭で男木島の防波堤に設置されたこの作品は、旧約聖書ノアの方舟に着想し、方舟は福島県いわき市に向かって自分の足で歩きだし、空と雲の力を借りて災禍（東日本大震災）を鎮めるというストーリーが込められている。形は、対岸に見える五剣山と、色は海と空の青に同化するように作られている。

C O N T E N T S

目 次

ガバナー挨拶	環境月間 美しく豊かな地球を	4P
地区だより	① 高知 第I分区・第II分区 合同インターシティーミーティング開催	6P
	② 2022-2023学年度 米山記念奨学生 終了式(高知地区)	8P
クラブだより	① おもてなし遍路ウォークに参加(阿南RC)	9P
	② 高松南RC・高松北RC 合同例会開催	10P
2月度出席報告		12P
受賞者一覧		13P



● ガバナー挨拶

環境月間 美しく豊かな地球を

国際ロータリー第2670地区
2022-2023年度 ガバナー

八田 光

2022-23ロータリー年度における10か月目に入ります。

昨年3月13日に予定されていたPETSが、コロナの影響で3月26日に延期開催されました。そのPETSにおいて皆さまに、いろいろな取り組みの中で、クラブ内外でのコミュニケーション、地域社会との取り組みを育み、学校・自治体などとのコラボレーションから未来を担う人材や考えを取り入れ、信頼できる行動するロータリーになるため、それぞれが「変化をもたらす人になろう」との声を掛けさせていただきました。

皆さまは、ロータリアンとして、クラブとして、地区への出向者として、様々な変化をもたらしてくれました。いよいよ地区大会の課題として取り上げている「海洋プラスチックごみ」問題を考えるときです。年度初めに、この課題についてアンケートを取らせていただくと、何らかの形で既に取り組んでいるクラブが半数近くあり、今年度においては人数や清掃範囲などの拡大を計画しているとの事でした。今までは、この課題に取り組んでないクラブも、別の環境問題に取り組んでいたり、今年度の計画に入れる予定のクラブがほとんどでした。ありがとうございます。

さて、国際ロータリーの4月は「環境月間」です。国際ロータリー「7つの重点分野」の7つ目に加えられた項目です。第2670地区においては、その7つ目の「環境問題」に注目しました。

環境問題にも、7つの問題があると言われております。

- ① 海洋汚染
- ② 化学物質・有害廃棄物の越境移動
- ③ オゾン層の破壊・地球温暖化
- ④ 生物多様性の減少
- ⑤ 鉱物資源やその他資源の減少
- ⑥ 森林破壊・砂漠化
- ⑦ 酸性雨

これらの問題は、人間の活動によって地球環境に変化が生じ、それによって起きるものです。

一人ひとりの人間の活動が、地球規模の大きな問題に発展し、未来の子どもたちに深刻な脅威を与えているのです。未来の子どもたちに、安全で安心な地球を残すために我々は今、行動しなければいけません。

第2670地区は、豊かな海、川、森林を有しております。海の汚染は、その80%が森林・陸のごみが川などを通じて流れ込んだものです。海洋汚染に取り組むことは、川・森林の汚染も削減しなければいけません。

我々は、「美しく豊かな地球を 未来の子どもたちへ」をテーマとして、行動として海洋プラスチックごみの削減をします。ロータリアンは行動します。

海洋汚染対策については世界の国々において、さまざまな計画が立てられ実行に移されております。日本政府も環境省によって、「循環型社会形成推進基本計画」が策定され、第四次計画ではその方向性として新たに3つの項目があげられました。

- ◆ 地域循環共生圏形成による地域活性化
- ◆ ライフサイクル全体での徹底的な資源循環
- ◆ 適正処理の更なる推進と環境再生

なかなか判りにくい表現ですが、具体的な海洋プラスチックごみの対策としては、プラスチックの有効利用を前提としつつ、プラスチックごみの回収から適正処理を徹底するとともに、ポイ捨てや不法投棄、非意図的な海洋流出の防止を進めていくことや、既に流出してしまったプラスチックごみの回収にも取り組むということです。

プラスチックごみへの取り組みは、企業だけでなく自治体などの行政や教育機関でも取り組まれています。

- ◆ 東京にある大学では、海洋プラスチックごみの中でも生物に影響が出やすい釣り糸に応用

できる新しい素材となる生分解性高強度繊維を開発しました。

- ◆ 海に面している香川県では、民間と行政が協力して海洋ごみの回収から処理システムまでを構築しています。
- ◆ 海洋研究開発機構 (JAMSTEC) では、マイクロプラスチックへの取り組みとして、ハイパースペクトルカメラを利用して海洋マイクロプラスチックを準自動で分析しています。
- ◆ 大手総合化学メーカーでは、自社で開発した植物由来の生分解性プラスチックを用いた製品を作っています。
- ◆ 大手飲料メーカーではプラスチックの使用を少なくするため、商品ボトルにラベルを付けない「ラベルレス」シリーズを作る取り組みをしています。
- ◆ 発泡スチロール (FPS) の普及や調査・研究を行う機関では、卸売市場でのFPS製鮮魚箱や農業箱のリサイクルを呼びかけています。

海は全世界共通の大切な資源です。海洋汚染が現在の私たちにとっても、未来の人たちの生活にも大きな影響を与えます。プラスチックによる海洋汚染への対策は、企業や行政・研究機関の取り組みが不可欠ですが、消費者である私たちも取り組んでいくべき重要課題です。

プラスチックの利用は、私たちの意識次第で削減も循環もできます。私たちにできることを考え、動き始めていくことが問題解決の第一歩となります。今すぐ行動に移そう!

美しく豊かな地球を、未来の子どもたちに受け渡しましょう!

● 地区だより①

高知第I分区・第II分区 合同インターシティーミーティング開催

テーマ 「原点から未来へ」～親睦・多様性・職業奉仕etc

I.Mホストクラブ 高知南RC I.M実行委員長 **小松秀明**

3年ぶりとなります高知第I分区、第II分区合同I.M（高知県下15クラブ）が、2023年2月11日土曜日に、ガバナー八田光様をはじめ、代表幹事丸井一馬様、パストガバナー掛水俊彦様、関裕司様、柳澤光秋様、東邦彦様、次期高知第I分区ガバナー補佐中平真理子様、次期高知第II分区ガバナー補佐吉村保利様の8名をご来賓にお迎えして、ザ クラウンパレス新阪急高知にて盛大に開催されました。

テーマ「原点から未来へ」は、主催者であります高知第I分区曾我博明ガバナー補佐、第II分区門田義仁ガバナー補佐のご意向を基にIM実行委員会で話し合い、ロータリーの原点を踏まえつつ、今後のロータリー活動を多様性も含め、各クラブのお考えや取り組みを発表していただくことを基本と掲げました。

高知第I分区中芸RCからスタートし、7クラブ発表後、曾我ガバナー補佐からの助言をいただき、続いて第II分区8クラブが発表後、門田ガバナー補佐からの助言をいただきました。

各クラブの発表者の方々からは、現在抱えている問題や、実行している活動、また未来に向けての新たな提案など、大変貴重で有意義な発表をいただきました。特に、ラストバッターの宿毛RC西岡弘徳会員のご子息に纏わる発表は、ロータリー活動を越えた心に迫る内容で、会場が感動と涙に溢れました。

その後、八田ガバナー様のご講評もいただきまして、第1部を無事終えることが出来ました。





第2部懇親会も多くのロータリアンにご参加をいただきました。お酒文化の高知県民としましては、コロナ禍に於いての宴会自粛や人数制限など、非常に窮屈な日々を余儀なくされている中、久しぶりに大勢のロータリアンとお酒を酌み交わすことができ、その重要性を改めて感じました。また、八田ガバナー様、丸井代表幹事様ともお酒を共にしたことで、大変有意義な時間を過ごすことができました。IM実行委員会としまして、懇親会の開催は大成功であったと自負しております。

今回は、翌12日曜日に、高知南RCが主催となり、高知ゴルフ倶楽部正連寺コースにおいて親睦合同ゴルフコンペも開催いたしました。前日のお酒も残っている中、63名のロータリアンにご参加いただき、お天気も良く、楽しく和気あいあいとプレーをすることができました。

最後に今回のIM開催にあたりまして、ご来賓の皆様、ご参加いただきました各クラブのロータリアンの皆様、会場のザクラウンパレス新阪急高知の皆様、ホストクラブとしての役目を全うした高知南RCの会員や事務局員の方々、多くの皆様のお力添えで無事終えることができましたこと、心より感謝を申し上げます。

このIMの経験を今後のロータリー活動に活かしていく所存でございます。



● 地区だより②

2022-2023学年度

米山記念奨学生 終了式 (高知地区)

高知地区委員 **津野克久** (高知南RC)

2023年3月10日(金)午後18時30分より、ラ・ヴィータにて「2022-2023学年度米山記念奨学生 終了式」が開催されました。コロナも落ち着いてきましたが、開催前に地区委員にて協議をした結果、今回も前回同様での開催、お弁当の持ち帰りおよび、時間短縮という形にて開催することになりました。

終了式には、第2670地区 高知第1分区曾我ガバナー補佐、高知第2分区門田ガバナー補佐、終了生4名とそのカウンセラーが4名、地区委員4名の合計14名の参加者で開催することができました。今年は奨学生4名全員が終了となりました。

終了式は高知第2分区ガバナー補佐門田様からの挨拶から始まり、順次紹介し奨学生・カウンセラーに終了証と感謝状を贈呈しそれぞれから一言をいただきました。奨学生それぞれが、お世話になったクラブに感謝していました。またカウンセラーはじめお世話クラブ様が奨学生に寄り添いロータリークラブを楽しんでいただけるように様々に取り組んでいました。山登りをしたり、就職の相談にのったり、免許を取得したので車の相談にのったりされたようです。

最後に高知第1分区曾我ガバナー補佐から挨拶をいただいて終了しました。今回は全員が終了となり皆で記念撮影を談笑し和やかな終了式となりました。



● クラブだより①

おもてなし遍路ウォークに参加



徳島第I分区ガバナー補佐 **田中勇一** (阿南RC)

2月23日(木・祝)に阿南ロータリクラブ有志6名は21番札所太龍寺を目指し、阿南市加茂町高低差600mかも道を上ろうと計画し、小雨が降る中、9:00に登山開始しました。

弘法大師が過去に歩んだ道を我々も太師と一体となり途中に古道を感じさせる幾つかの丁石(1丁109m)や石造物を横目にしながら、段々と呼吸が早くなり会話も少なくなってきました。暫く登ると急こう配の登りも途中からなだらかで歩きやすい山道になり、やっと山門に到着、到着時には他の2グループとも出会い、境内には一般の参拝客とすれ違いながら、太龍寺本殿に到着し、全員でポリオ撲滅祈願と阿南中央RC存続の祈願を行いました。

帰りはロープウェイ乗り場でお接待をして頂き、龍天井を眺めながら全員無事に下山し、爽やかな気分の有意義な一日でした



● クラブだより②

高松南RC・高松北RC 合同例会開催

高松北RC 会長 **橋本 登**



去る3月8日、高松南RC様と高松北RCの合同例会がお互いの例会場であるJRホテルクレメント高松にて開かれました。合わせて99名の会員のご出席を得て、盛大に執り行われました。

まず、それぞれの会長・幹事挨拶の後、「我クラブはこんなクラブです」という題目で、双方の会長よりクラブの特長を発表しました。

高松南の白井克彦会長から「イマジンロータリーを実践し、その楽しみをみんなのために」というクラブテーマの下、一年の活動を振り返りながら、会員拡大を含め、積極的な活動展開についてのお話がありました。特に、伝統あるクラブの誇りとして過去5名のガバナーを輩出していることや、米山記念奨学会に地区一番の貢献をされていることなどが報告されました。

高松北からは、創立時南クラブさんにスポンサークラブとして大変お世話になったこと、またクラブの現在の会員状況について、そして多彩な事業展開の中の特色のある奉仕活動の事例として3つの継続事業について説明させていただきました。

その後、高松南RCの吉田茂会員より「ロータリーの歴史と未来」と題した卓話を頂き、最後に南の太田英章パストガバナー、北の八田光ガバナーの総評を頂き終了しました。

4年ぶりの南北合同例会、非常に和やかな交流の中にも互い切磋琢磨する心地よい緊張感があり、ロータリー精神に溢れる例会になったと思います。以上、誠に簡単ですがご報告と致します。



◀ 太田英章
パストガバナー



八田 光ガバナー ▶



◀2023年3月8日 卓話
高松南RC・高松北RC合同例会にて

卓話:ロータリーの歴史と未来 吉田 茂 (高松南RC)

私は、2670地区のクラブ研修リーダー育成セミナーで、倉吉RCの伊藤文利PGの講演を聞きました。その内容を皆様にお話して、私の役割を果たしたいと思います。

1 RCは、WASPの文化・価値観・生活様式を基礎にしています。

WASPは、ホワイト、アングロ・サクソン、プロテスタントです。その具体的な特徴は、

- ① 自主独立でありながら、権威に対する忠誠心が強い。
- ② 合理的であり、日常的に選択と集中をする。
- ③ 結果を重視する。
- ④ 変化に大胆であり、チェンジはチャンスにつながると考える。
- ⑤ 一神教・性悪説である。

2 発足当初のRCに、奉仕という考え方はありませんでした。

親睦と相互扶助の場であり、仲間と安心して取引をするのがRCの目的でした。その後、

- ① 「超我の奉仕」(ベンジャミン・コリンズ)
- ② 「もっともよく奉仕する者が最も多く報われる」(アーサー・シェルドン)という考えが加わりました。

奉仕という目的が加わった結果、RCは、「利己的欲求と他人のために奉仕する心の矛盾・葛藤を和らげる自己修練の場」になったと言われています。

RCの目的は、クラブ奉仕(親睦)と職業奉仕・社会奉仕・世界奉仕であり、ロータリアンは、「4つのテスト」すなわち「真実か、公平か、好意と友情を深めるか、みんなのためになるかどうか」に従って行動する。これがRCの本質とされました。

3 ロータリアンの数は、1986年に100万人、1996年に120万人でした。

しかし、その後は増えず、先進国では減少に転じました。

その結果、RIは、CLP(クラブリーダーシッププラン)、戦略計画を推奨しました。

CLPの目的は、クラブの発展・活性化でした。その方法は、①クラブ運営、②広報、③会員増強・退会防止、④奉仕プロジェクト、⑤ロータリー財団の5つの常任委員会の活動に「選択と集中」をすることでした。クラブ研修リーダーは、その時期に選任されることになりました。

4 RCの未来について、お話しします。ここからは、私個人の意見です。

私は、RCは「親睦と奉仕による喜びを実感する場」だと思っています。

RIは広報や会員増強を重視しますが、喜びを実感することとの関連性は薄く、

効果は弱いと思います。RCを自己修練の場であると位置づけるのも、楽しさに欠け、

喜びを実感する場にふさわしくないと 생각합니다。

RCは「親睦と奉仕による喜びを実感する場」であるとする、RCの未来は、魅力ある元気なクラブにしようという会員一人ひとりの思いにかかっていることとなります。今日、多くの会員が集まり、合同例会が盛大に開催されたのは、そのような会員一人ひとりの思いの表れだと思います。これからも親睦と奉仕を実践して、一緒にロータリーを楽しみましょう。

● 2月度出席報告

分区	クラブ	出席率 (%)	2月末 会員数	首比増減	2月末 女性会員数	例会数
徳島第I分区 10 RC	徳島	90.00	82	7	5	4
	徳島東	65.55	58	-1	2	3
	徳島北	85.71	31	2	6	4
	徳島プリンス	84.62	78	0	11	4
	阿南	65.38	54	2	5	4
	阿南南	77.08	50	0	0	3
	小松島	86.25	20	2	0	4
	小松島南	68.48	23	0	0	4
	阿南中央	68.00	20	0	4	3
	徳島眉山	52.78	12	-1	1	3
徳島第II分区 11 RC	阿波池田	79.17	42	0	0	4
	御所	66.99	25	-1	4	4
	鴨島	85.63	46	0	4	4
	鳴門	77.72	47	3	3	4
	鳴門中央	74.42	37	0	2	4
	徳島中央	73.08	26	1	4	4
	徳島南	73.57	35	-2	2	4
	徳島西	83.87	33	1	4	3
	脇町	72.87	43	1	1	3
	阿波徳島	50.00	23	0	1	4
美馬	72.22	27	2	4	4	

分区	クラブ	出席率 (%)	2月末 会員数	首比増減	2月末 女性会員数	例会数
高知第I分区 7 RC	安芸	85.92	20	0	2	4
	中芸	82.61	13	0	0	4
	香長	91.43	10	0	0	4
	高知中央	64.47	45	-1	0	2
	高知東	100.00	54	1	7	4
	高知南	91.94	82	-1	12	3
	高知ロイヤル	91.04	23	-1	3	3
	高知第II分区 8 RC	高知	82.72	92	3	13
高知西		86.76	73	-1	2	3
高知北		75.29	33	1	3	3
中村		80.21	55	2	7	4
四万十		71.88	12	0	2	3
仁淀		58.82	18	-1	2	1
宿毛	宿毛	73.61	26	-1	0	3
	須崎	82.14	14	-2	0	2

分区	クラブ	出席率 (%)	2月末 会員数	首比増減	2月末 女性会員数	例会数
愛媛第I分区 9 RC	今治	100.00	52	-1	3	3
	今治北	89.47	22	0	1	2
	今治南	100.00	67	0	0	4
	伊予三島	91.89	35	0	1	2
	川之江	96.00	50	1	0	3
	新居浜	92.43	67	0	1	3
	新居浜南	90.70	16	2	3	3
	西条	85.26	24	-2	0	4
	東予	95.51	31	3	1	3
	北条	72.50	11	0	0	4
愛媛第II分区 11 RC	伊予	88.89	35	-1	0	3
	道後	96.08	26	3	2	2
	松山	68.93	68	0	4	4
	松山東	77.00	26	1	0	4
	松山北	79.75	27	0	0	3
	松山南	84.24	55	3	6	3
	松山西	91.67	23	0	2	4
	大洲	76.47	36	-1	4	4
	宇和島	75.44	19	-1	1	3
	八幡浜	85.07	24	0	0	3

分区	クラブ	出席率 (%)	2月末 会員数	首比増減	2月末 女性会員数	例会数
香川第I分区 10 RC	さぬき	77.19	19	1	0	3
	東かがわ	87.10	24	0	3	4
	小豆島	95.49	35	6	2	4
	高松	100.00	88	1	8	3
	高松中央	78.79	36	-1	0	3
	高松グリーン	93.10	40	3	3	3
	高松東	100.00	47	2	4	3
	高松北	83.77	81	2	7	4
	高松西	67.08	42	-5	2	4
	高松南	100.00	60	3	3	4
香川第II分区 8 RC	観音寺	93.44	41	-1	4	3
	観音寺東	84.26	28	1	5	4
	琴平	88.46	13	-1	0	4
	丸亀	76.87	58	-1	4	3
	丸亀東	81.18	41	1	3	4
	坂出	97.44	40	2	1	4
	坂出東	81.21	74	-1	12	4
	善通寺	82.11	35	0	0	4

	出席率 (%)	2月末 会員数	首比増減	2月末 女性会員数
74RC 合計	82.12	2,898	34	26

受賞者一覧

米山功労者
メジャードナー



豊田章二
高松南RC

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



八田 光
高松北RC



黒田史郎
高松北RC



赤松昭信
高松北RC

ポール・ハリス・フェロー



鴨井 敦
高松北RC

物故会員
ご冥福をお祈り申し上げます



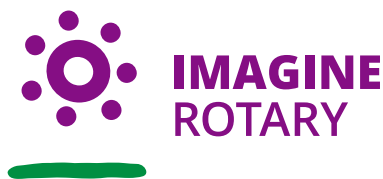
平尾史郎 (享年69歳)
今治南RC
2023年3月9日 ご逝去

物故会員
ご冥福をお祈り申し上げます



林 嘉昭 (享年77歳)
小松島南RC
2023年3月11日 ご逝去





ガバナー月信編集委員会からのお知らせ

今年度よりガバナー月信は印刷冊子の配布に代えてネット配信となりましたが、更に今月よりyou tube 配信を開設しております。ご利用いただくようお願いいたします。ガバナー事務所HPにアクセスしていただき月信の閲覧及びダウンロードをお願いします。

<http://www.rid2670gov22-23.jp>

記事投稿のお願い

ガバナー月信は、地区ガバナー事務所と会員の皆様との情報共有ツールの一つです。日頃の奉仕活動等を以下メールアドレスへお気軽にお寄せください。

[E-mail:monthly@rid2670gov22-23.jp](mailto:monthly@rid2670gov22-23.jp)

I N F O R M A T I O N

● 物故会員の連絡について

クラブ名、氏名、逝去年月日と顔写真
(お名前がわかるようにお願いします)をお送りください。

● 出席報告について

毎月最終例会後、翌月15日までにガバナー事務所へメール
またはFAXしてください。

● 受賞者紹介について

ホームページ上の受賞者一覧にクラブ名、氏名を入力の上、
写真も氏名がわかるようにお送りください。

● クラブの行事や活動状況などについて

原稿と、出来るだけ写真を添えてメールでお送りください。

送り先は、ガバナー事務所まで

国際ロータリー第2670地区 ガバナー事務所

E-mail : info@rid2670gov22-23.jp

国際ロータリー第2670地区ガバナー月信編集委員会 地区代表幹事：丸井 一馬 / 担当幹事：真屋 正明

〒761-8071 香川県坂高松市伏石町2034-1 TEL. 087-802-8045 FAX. 087-802-8046 E-mail : monthly@rid2670gov22-23.jp

